

- + 物理学(一般相対論・高エネルギー・非線形) 文献リスト updated 2002.9.8
 - 資料抽出：日本物理学会誌(1999/1-2002/9)
 - 資料抽出：科学(2001/4-2001/12, 2002/4)
 - 資料抽出：日経サイエンス(2001/11 創刊号から30年分のデータベース), 2002/2 4, 別冊日経サイエンス136「宇宙論の新たな次元」
 - 資料抽出：数理科学(2001/4-2001/12, 2002/4-5 他手元にあったもの)
 - 資料抽出：Physics Today, パリテイ(手元にあったもの, 2002/4)
 - 資料抽出：Physics World(2001/11 - 2002/2)
- + 一般相対論
 - + 特集「物理定数のプロフィール その進化と変遷」, 数理科学2002-3
 - 藤井保憲 岩本昭 池上健 杉山直 山口昌弘
 - 時空特異点と宇宙検閲仮説, 中尾憲一, 日本物理学会誌 2002-1
- + 重力波
 - Opening a new window on the universe, J. Moore, Physics World 2001-12, p.10
 - Gravitational Radiation and the Validity of General Relativity, C.M. Will, Physics Today 1999-10
 - LIGO and the Detection of Gravitational Waves, B.C. Barish and R. Weiss, Physics Today 1999-10
 - 21世紀の重力波天文学 TAMAプロジェクトの現状, 坪野公夫, 日本物理学会誌1999-5
 - 重力波検出実験と数値相対論, 柴田大, 数理科学 1999-4
 - 重力波検出器による相対論的天体の観測, 柴田大, 日本物理学会誌1998-8
- + 高次元・超弦理論
 - + 特集「超弦理論と量子重力2」, パリテイ2001-4
 - 特集にあたって, 磯暁, パリテイ2001-4
 - 5次元目の時空は存在するか, 板東昌子 九後汰一郎, パリテイ2001-4
 - 時空は非可換か, 加藤光裕, パリテイ2001-4
 - 変貌する超弦理論, 糸山浩, パリテイ2001-4
 - 時空は4次元か, 山口昌弘, 日本物理学会誌2000-8
 - 重力でゲージ理論を調べる, 今村洋介, 日本物理学会誌2000-3
 - 素粒子：標準理論を超えて, 山口昌弘, 数理科学 1999-4
 - 超弦理論の展望, 石橋延幸, 数理科学 1999-4
 - 超弦理論はブラックスホールの謎を解けるか?, 夏梅誠, 日本物理学会誌1999-3

- Quantum Blackholes are tied to D-branes and strings, G.P. Collins, Physics Today 1997-3, D-ブレーンおよび弦との関係がわかってきた量子ブラックホール, 米谷民明訳, パリテイ 1997-9
- Reflections on the fate of spacetime, Ed Witten, Physics Today 1996-4 時空とは何か, 加藤晃史訳, パリテイ 1997-1
- + 特集「空間概念と物理学 創造される意味の源泉」, 数理科学 2001-11
 - 佐藤文隆, 松下泰雄, 芹生正史, 河合俊治, 坂井伸之, 佐々木節, 早田次郎
- 素粒子の結合定数の時間変化とOklo現象, 藤井保憲 岩本昭 日高洋, 日本物理学会誌2000-9
- Theorists and Experimenters Seek to Learn Why Gravity is so Weak, B. Schwarzschild, Physics Today, 2000-9 重力はなぜ弱い? 須藤靖訳, パリテイ, 2001-4
- + 特集「量子論と相対論 2つの理論の統一へ向けて」, 数理科学2000-4
 - 米谷民明, 川合光, 加藤光裕, 前田恵一, 佐藤勝彦, 葛西真寿
- Jordan, Pauli, Politics, Brecht, and a Variable Gravitational Constant, E.L.Schucking, Physics Today 1999-10
- 重力崩壊における臨界現象, 原隆 古池達彦, 日本物理学会誌 1999-10
- Revisiting the Black Hole, R.Blandford and N.Gehrels, Physics Today 1999-6
- 深宇宙の探求, 郷田直輝, 数理科学 1999-4
- New Vies of Neutron Stars, L.Bildsten and T.Strohmayer, 1999-2
- 相対性理論のコンピュータグラフィックス, 山下義行, 日本物理学会誌1998-11
- + 特集「重力の魅力—一般相対論から量子重力理論まで」, 数理科学1998-8
 - 藤井保憲, 藤本真克, 中尾憲一, 古池達彦, 前田恵一, 細谷暁夫, 国友浩
- 量子論に現れる—一般相対論的效果, 葛西真寿, パリテイ 1997-9
- ブラックホールの合体と変形, 椎野克, パリテイ 1997-5
- + **天体核**
 - Nuclear astrophysics: a new era, M. Wiescher et al, Physics World 2002-2 p.33
 - パルサー—グリッチ理論の新展開—中性子星内部の原子核構造と超流動との関わり—, 望月優子 伊豆山健夫, 日本物理学会誌 2001-5
 - 新種ブラックホールの発見とその意義—成長するブラックホール, 松本浩典 松下聡樹 鶴剛 川辺良平, 日本物理学会誌 2001-6
 - 荷電フェルミ粒子系の強磁性転移—実験室の電子液体と白色矮星表面の金属水素, 一丸節夫, 日本物理学会誌2001-11
 - ビッグバンを再現できたか?—高エネルギー原子核衝突実験の成果, 杉立徹 三明康郎, 日本物理学会誌2000-11
 - 重イオン反応と核物質の相, 大西明, 数理科学 1999-4
 - 極限状態の原子核, 清水良文, 数理科学 1999-4

+ Physics World 物理解説記事

- Mimicking the brain, S. Smye et al, Physics World 2002-2 p.27
- The Quantum effects of gravity revealed, E. Cartlidge, Physics World 2002-2 p.5
- Artificial black holes on the research horizon, E. Cartlidge, Physics World 2002-2 p.7 see also p.13
- New frontiers in superconductivity <Special Issue>, Physics World 2002-1
- New vision of magnetic tunnelling, J.R. Friedman, Physics World 2002-1 p.22
- Too confident about uncertainty, R.P. Crease, Physics World 2001-12, p.18
- New paths to the ultimate theory (Quantum Hall), P.Rodgers, Physics World 2001-12, p.5
- A quantum leap for cosmology, L. Smolin, Physics World 2001-11, p19
- Quantum Cloning, V. Buzek and M. Hillery, Physics World 2001-11, p25

+ Physics World その他解説記事

- From the big bang to the eureka moment (Hawking 60th), P. Rodgers, Physics World 2002-2, p.9
- Was Aristotle the first physicist?, M.RowanRobinson, Physics World 2002-1, p.15
- What ever happened to B,C and S? (BCS theory), P. Rodgers, Physics World 2002-1, p.9
- Werner Heisenberg: controversial scientist, M. Eckert, Physics World 2001-12, p.35
- Blue-laser pioneer seeks his fair share, P. Gwynne, Physics World 2001-12, p.9
- Lasers in art conservation, K. Hinsch and G. Guelker, Physics World 2001-11, p37

+ 計算科学

- 超並列計算機CP-PACCSが拓く素粒子標準理論研究の展開, 青木慎也 金谷和至 吉江友照, 日本物理学会誌2001-3
- + 特集「量子情報と量子コンピュータ 量子力学と情報科学の壮大な融合」, 数理科学 2001-6
 - 小澤正直, 小芦雅斗, 井出俊毅, 小林孝嘉, 古沢明, 村尾美緒, 内山智香子, 長岡浩司, 北川勝浩, 竹内繁樹
- 21世紀, 量子猫は計算をするか, 竹内繁樹, 日本物理学会誌1999-4
- Probing Cosmic Mysteries by Supercomputer, M.L. Norman, Physics Today 1996-10, スーパーコンピュータで宇宙の神秘を探る, 梅村雅之訳, パリティ 1997-8
- 計算機で微分方程式を厳密に解く 精度保証つき数値計算, 大石進一, 科学66(1996-6) 437

+ 統計・非線形・複雑系

- 単一量子ビット励起子の光励起過程と量子干渉効果, 鎌田英彦, 日本物理学会誌2002-2
- 電荷と幾何学的フラヌトレーションが生み出す新しい物性, 勝藤拓郎, 日本物理学会誌2002-2
- 量子情報理論 量子効果を使う新しい情報操作とその性能限界を明らかにする理論, 佐々木雅英 番雅司, 日本物理学会誌 2002-1
- 有限量子系のシエル構造と古典周期軌道, 在田謙一郎 松柳研一, 日本物理学会誌 2002-1
- 内部電場のナノ空間構造による巨大非線形応答, 石原一 他, 日本物理学会誌2000-9

- 複雑系としての生命シラステムの論理を求めて, 金子邦彦, 日本物理学会誌2000-7
 - フェムト秒実時間分光法 超高速ダイナミクスへの応用, 小林孝嘉, 日本物理学会誌2000-5
 - 水滴落下系のカオス, 清野健 勝山智男, 日本物理学会誌2000-4
 - 電気伝導の理論 ランダウアーの公式, 川畑有郷, 日本物理学会誌2000-4
 - 砂山の可換モデル, 香取真理, 日本物理学会誌2000-4
 - 分子吸着による水中のマイクロ・シヤボン玉の形態変化, 末崎幸生 他, 日本物理学会誌2000-4
 - 開いたメソスコピック系の非平衡統計力学 久保公式・ランダウアー公式が突き当たった問題点, 清水明 加藤弘詔, 数理科学 2000-4
 - 液体の物理学, 米沢富美子, 数理科学連載2000-4,...
 - 粉流体の流動化, 青木圭子, 日本物理学会誌2000-1
 - カオスの厳密解の応用 共役変換とエルゴード性から導かれる定積分公式, 井上政義, 日本物理学会誌1999-10
 - カオス的トンネル効果, 首藤啓 池田研介, 日本物理学会誌1999-9
 - 粗視化と「大偏差統計力学」, 藤坂博一, 日本物理学会誌1999-6
 - 熱平衡を非平衡から調べる 非平衡緩和法, 伊藤伸泰 他, 日本物理学会誌1999-5
 - 統計物理学の基礎をめぐって, 田崎晴明, 数理科学 1999-4
 - + Tsallisエントロピーとボルツマン・ギブス統計力学の拡張, 阿部純義, 日本物理学会誌1999-4
 - Tsallisの非加法的統計力学, 阿部純義, 数理科学連載2000-1,2,3,4
 - 光ソリトン通信の最近の動向, 長谷川晃, 1999-4
 - 価格変動の統計物理学入門, 高安秀樹, 日本物理学会誌1999-1
 - 統計力学的手法をもとにした画像修復, 田中和之, 日本物理学会誌1999-1
 - ヘリカルプラズマにおける電場の非線形性と自励振動, 藤澤彰英, 日本物理学会誌1999-1
 - 成長する荒れた界面の形とダイナミクス 自己アライニング・フラクタル, 本田勝也, 科学66 (1996-3) 184
- + 量子論・場の理論・素粒子論 (理論)**
- 高次元時空の世界から4次元時空の世界を眺める, 川村嘉春, 日本物理学会誌 2002-9
 - + 特集 「M理論とは何か 超弦理論の新时代とパラダイム」 数理科学2002-4
 - M理論とは何か 風間洋一, 超弦理論の双対性とM理論 太田信義, D-ブレーンの力学 石橋延幸, 超膜理論 松尾泰, M理論の行列模型M理論のMはMatrixのM? 大川祐司, 弦理論の構成的定式化 川合光, ゲージ理論と重力理論の双対性 江口徹, 弦理論と非可換性 加藤光裕, M理論と弦理論の時空不確定性関係 米谷民明
 - Bの物理とCPの破れ, 小林誠, パリテイ 2002-1
 - 超弦理論と時空の物理, 国友浩, パリテイ 2002-1
 - 標準理論を超えて, 日笠健一, パリテイ 2002-1
 - 素粒子物理の青春時代を回顧する, 南部陽一郎, 日本物理学会誌 2002-1

- 量子暗号と量子論, 井元信之, 小芦雅斗, 日本物理学会誌2001-1
 - 量子カオスとピリアード, 中村勝弘, 馬駿, 日本物理学会誌2001-4
 - M理論とは何か, 風間洋一, 日本物理学会誌2001-4
 - + 特集「場の量子論の新たな方向 その思想と展望をひらく」, 数理科学 2001-4
 - 小嶋泉, 近藤慶一, 菅野浩明, 荒木不二洋, 河東泰之, 伊東恵一, 江沢洋, 永長直人
 - + 特集「ヒッグスの謎 素粒子物理の新たなパラダイムへ」, 数理科学 2001-10
 - 東島清, 岡田安弘, 田中実, 棚橋誠治, 高杉英一, 太田信義, 駒宮幸男
 - + 特集「スピンはさらにめぐる 量子力学の誕生から現代物理まで」, 数理科学 2001-7
 - 藤川和男, 中西のぼる, 町田茂, 田崎秀一, 押川正毅, 小玉英雄, 江沢潤一
 - 密度行列繰り込み群, 西野友年, 日永田泰啓, 奥西巧一, 日本物理学会誌2000-10
 - 非可換幾何学と場の理論, 綿村哲, 日本物理学会誌2000-10
 - 核子スピンの謎をカイラル-クォーク-ソリトン模型で解く, 若松正志, 日本物理学会誌2000-9
 - 高温超伝導体におけるジョセフソンプラズマ振動の量子論, 小山富男, 日本物理学会誌2000-8
 - カイラル対称性の破れによるドメイン構造, 浅川正之, 南方久和, 日本物理学会誌2000-4
 - 自発的に破れる超対称性の実現, 井沢健一, 日本物理学会誌2000-4
 - 原子核における超流動への相対論的アプローチ, 松崎昌之, 谷川知憲, 日本物理学会誌2000-4
 - + 特集「双対性 自然界に備わる対称性・二面性」, 数理科学2000-2
 - 江口徹, 菅野浩明, 川野輝彦, 土岐博, 河原林研, 杉浦光夫
 - CPの破れの起源をめぐって, 山中卓, 日本物理学会誌1999-9
 - 平衡・非平衡系の場の量子論 クォーク・グルーオンプラズマ, 牲川章, 日本物理学会誌1999-7
 - 素粒子：標準理論を超えて, 山口昌弘, 数理科学1999-4
 - 超弦理論の展望, 石橋延幸, 数理科学1999-4
- + 量子論・場の理論・素粒子論 (実験)**
- 太陽ニュートリノの物理, 中畑雅行, 鈴木洋一郎, 日本物理学会誌 2002-3
 - + 超重元素探索の物理, 和田隆宏, 阿部恭久, 日本物理学会誌 2002-6
 - ITERは今一計画の概要と現状-, 岸本浩, 下村安夫, 日本物理学会誌 2002-6
 - ITERで何ができるかー燃焼プラズマとブランケット技術-, 若谷誠宏, 田中知, 日本物理学会誌 2002-6
 - 陽子-重陽子弾性散乱の測定と三体力の検証, 酒井英行、関口仁子, 日本物理学会誌 2002-7
 - チベットにおける高エネルギー宇宙線の研究ー日中共同研究-, 湯田利典, 日本物理学会誌 2002-7
 - LEPの収獲 最高エネルギー電子・陽電子衝突実験の成果, 川本辰男, 日本物理学会誌 2002-4
 - 各種実験の開始で弱い相互作用研究は転換期を迎えている佳境に入ったニュートリノ振動実験, 南方久和, パリテイ2002-4
 - The Road to the Neutrino, A. Franklin, Physic Today 53 (2000) 2, ニュートリノ物語, 山本佑靖訳, パリテイ2002-2

- スーパー神岡事故関連報告, 吉村太彦, 日本物理学会誌2002-2
 - 相互作用断面積から探る不安定核の核構造, 小沢 顕、鈴木健、谷畑勇夫, 日本物理学会誌2002-2
 - + 特集「反世界の謎を探る」, 科学2001-12
 - 小林誠, 栗本猛, 相原博昭
 - + ニュートリノ振動
 - ニュートリノ振動は見つかったか, 西川公一郎, パリテイ 2001-11
 - ニュートリノ振動実験の現状と将来, 中村建蔵, 日本物理学会誌2001-11
 - ニュートリノ振動研究の現状, 南方久和, 日本物理学会誌1998-10
 - 小特集「ニュートリノの質量は何を語るか」, 科学1999-2
 - + 特集「大強度陽子加速器プロジェクト」, 日本物理学会誌2001-10
 - 永宮正治, 永江知文, 新井正敏, 西山禎生, 大井川宏之
 - B中間子における大きなCP非対称の発見, 相原博昭, 日本物理学会誌2001-11
 - 反世界の謎を解き明かす, 相原博昭, 科学2001-10
 - ミュオン磁気能率測定は標準理論の破れを検出したか, 岩崎雅彦 山本明, 日本物理学会誌2001-11
 - $K^+ \rightarrow \pi^+ \nu \bar{\nu}$ の発見, 小中哲 中野貴志 新川孝男, 日本物理学会誌2000-11
 - 新しいニュートリノ研究領域を拓くKamLAND実験, 鈴木厚人, 日本物理学会誌2000-8
 - 陽電子と分子の散乱過程における共鳴状態の可能性を探る, 季村峰生 末岡修, 日本物理学会誌2000-6
 - 準安定多重リユードベリ状態の生成 低速多価イオンへの共鳴電子捕獲, 山崎泰規 他, 日本物理学会誌2000-6
 - K2K実験始まる, 石井孝信, 日本物理学会誌2000-5
 - 超対称SU(5)大統一模型が予言する陽子崩壊, 後藤亨 二瓶武史, 日本物理学会誌1999-12
- + 物性物理
- 超高压固体アルゴンの弾性定数とその第一原理計算, 清水宏晏、飯高敏晃, 日本物理学会誌 2002-8
 - 量子1次元系の有限温度における輸送現象—厳密解からのアプローチ—, 藤本聡, 日本物理学会誌 2002-8
 - コンプレックスプラズマの物理, 石原修, 日本物理学会誌 2002-7
 - He原子の光二重電離—カイラル電子対の生成—, 副島浩一, 柳下 明, 日本物理学会誌 2002-6
 - イッテルビウム原子のレーザー冷却とその応用, 高橋義朗、藪崎 努, 日本物理学会誌 2002-6
 - ポリマー性超分子—環状分子を用いた高分子のナノ構造制御—, 伊藤耕三 下村武史 奥村泰志, 日本物理学会誌 2002-5
 - アルカリ原子のBECにおける渦糸の生成, 中原幹夫 大見哲巨, 日本物理学会誌 2002-3
 - Superfluid Helium Droplets: an Ultracold Nanolaboratory, J.Peter Toennies, A.F. Vilesov, and K.B. Whaley, Today, 54-2 (2001), ヘリウム環境中の相互作用による分子分光や超流動の微視的研究 極低温ナノ実験室としての超流動ヘリウム液滴, 河野公俊 訳, パリテイ 2002-4
 - スピン三重項超伝導—ルテニウム酸化物で実現した新しい量子凝縮状態, 前野悦輝 出口和彦, 日本物理学会誌2001-11

- メカニカル・スベクトルスコピー 振動でわかる原子のジヤング, 沼倉宏, 日本物理学会誌2000-6
- 有機超伝導と高温超伝導 起源は同じか, 守谷亨, 日本物理学会誌1999-12
- 量子ドット系における近藤効果, 泉田渉, 酒井治, 日本物理学会誌1999-11
- カーボンナノチューブの電気伝導, 中西毅, 安藤恒也, 日本物理学会誌1999-8
- 自己束縛励起子の生成過程と波束振動の観測, 末元徹, 日本物理学会誌1999-3
- 特集「強相関係の金属—絶縁体転移」, 日本物理学会誌1999-2

+ 物理数学

- + 特集「数学による物理の表現 その共進化と多様な可能性」, 数理科学 2001-12
 - 物理から見た数学, 和達三樹, 数理科学 2001-12
 - 量子力学の数学的構造, 新井朝雄, 数理科学 2001-12
 - ランダム行列とその周辺, 白井朋之, 数理科学 2001-12
 - 量子可積分系, 高崎金久, 数理科学 2001-12
 - 超弦理論と数学の発展, 綿村哲, 数理科学 2001-12
 - くりこみ群, 渡辺浩, 数理科学 2001-12
 - 自然現象と大偏差統計, 藤坂博一, 数理科学 2001-12
 - ソフトマテリアルの数理, 川勝年洋, 数理科学 2001-12
- 行列式から見た2次元可解模型の相関関数, 太田武志, 日本物理学会誌2001-1
- ホログラフイークリこみ群, 福岡将文, 日本物理学会誌2001-3
- 交通流の科学, 只木進一, 菊池誠, 杉山雄規, 湯川諭, 日本物理学会誌2000-3
- 交通流模型の数理 厳密解構成によるアプローチ, 五十嵐尤二, 伊藤克美, 中西健一, 日本物理学会誌2000-3
- 首都高速道路の交通渋滞対策, 小川晃一, 日本物理学会誌2000-3
- くじ引きで解く少数多体系の束縛状態, 鈴木宜之, 薄倉淳子, 日本物理学会誌1999-11

+ その他

- 基礎物理定数の新しい推奨値 アボガトロ定数とプランク定数の決定をめぐる最近の動き, 藤井賢一, 大苗敦, 日本物理学会誌 2002-4
- + 特集「物理学とポテンシャル—力学から現代物理までの拡がり」, 数理科学2002-5
 - ポテンシャルって何だろう 阿部 龍蔵
 - 古典物理とポテンシャル 今井 功
 - 量子力学とポテンシャル 加藤 正昭
 - ポテンシャル・摂動論・超対称性 青山 秀明
 - 有効ポテンシャル入門 ミクロからマクロへ 青木 健一
 - 素粒子論とポテンシャル 原 康夫

- 相転移とポテンシヤル 鈴木 増雄
 - 対称性とポテンシヤル 仲 滋文
 - The Early Days of Pugwash, J. Rotblat, Physics Today 54 (2001)-6, バグウオッシュ会議の誕生, 小沼通二訳, パリティ 2002-2
 - ヒトゲノムの解読と初期解析について, 藤山秋佐夫, 日本物理学会誌2002-2
 - + 特集「電磁気学と現代物理学 ヌクスウエル方程式がひらくさまざまな道」, 数理科学 2001-5
 - 加藤正昭, 太田浩一, 霜田光一, 大貫義郎, 風間洋一, 小林誠, 牟田泰三, 向川政治
 - + 特集「点, 粒子, 場 その数理と物理イメージ」, 数理科学 2001-9
 - 高木隆司, 松本幸夫, 首藤啓, 松尾泰, 宮沢弘成, 筒井泉, 米谷民明, 山脇幸一, 二間瀬敏史
 - 実験室でヌクスウエルを合成する, 和田節子, 日本物理学会誌2000-12
 - ゲノム解析は生命の物理学に何をもたらすのか?, 小原収, 日本物理学会誌2000-8
 - 東海村JCO臨界事故, 柴田徳思, 日本物理学会誌2000-8
 - 熱音響現象の理解とその応用, 富永昭, 日本物理学会誌2000-5
 - 地震に伴う電磁変動信号 前兆信号を論じる前に, 竹内伸直, 日本物理学会誌1999-7
- + 談話室
- ヌクスウエル・デーモン考, 中野藤生, 日本物理学会誌 2002-4
 - エクスルギーの定義と公式の改訂, 後藤英一 天野力 阿部龍蔵, 日本物理学会誌2002-4
 - + 質点と場と確率解釈, 宮沢弘成, 日本物理学会誌2002-2
 - 電子は質点か場か, 宮沢弘成, 日本物理学会誌2000-3
 - 世界貿易センタービル崩壊と超高層建築の安全性, 神田順, 科学2001-12
 - ヌクスウエルのデモン, 斉藤信彦, 日本物理学会誌2001-9
 - Adjusting the Values of the Fundamental Constants, P.J. Mohr B.N. Taylor, Physics Today 2001-4, 基礎定数値が決まるまでの長い道のり, 霜田光一訳, パリティ 2001-11
 - 微小重力環境を用いた物理実験, 清水順一郎 井口洋夫, 日本物理学会誌2001-10
 - プランク量子論100年, 高田誠二, 日本物理学会誌2000-10
 - 原子分子素過程データベース, 村上泉, 日本物理学会誌2000-8
 - 日本人とノーベル物理学賞: 1901-1949, 岡本拓司, 日本物理学会誌2000-7
 - 電磁気量標準の成り立ち, 遠藤忠, 日本物理学会誌1999-10
 - 構造的因果性と諸科学, 石村多門, 日本物理学会誌1999-8
 - 生命の起源と自然選択の原理, 豊沢豊, 日本物理学会誌1999-5
 - 物理と数学, 並木美喜雄, パリティ 1996-8

+ 物理教育

- 教科書検定の問題点, 兵頭俊夫, 日本物理学会誌 2002-5
- 教育課程改定に関するアピール, 日本物理学会京都支部, 日本物理学会誌 2002-3
- 新学習指導要領の問題点, 兵頭俊夫, 日本物理学会誌 2002-3
- 大学入試における物理の問題について, 小野敬一, 日本物理学会誌2000-6
- 物理教育におけるインターネット上教材資源の活用, 鈴木恒則, 日本物理学会誌2000-6
- 座談会 大学の物理教育を考える, 日本物理学会誌2000-1
- 新学習指導要領に関する数学, 物理学, 化学系学会の見解発表について, 川村清, 日本物理学会誌1999-7
- MITに見る米国の物理教育体制, 覧具博義, 日本物理学会誌1999-4
- Nobel population 1901-50: anatomy of a scientific elite, E. Crawford, Physics World 2001-11, p31

+ 研究環境・大学独立法人化問題

- ポスドク・任期制・時限プロジェクトー日本型共同研究スタイルの提言, 丸山瑛一, 日本物理学会誌 2002-3
- 特集「研究者としての人生とは?」, 科学2002-4
- ポスドクを取り巻く状況はどうなっているのか, 平山貴之, 科学2001-12
- 特集「日本の科学技術政策 何が問題か」, 科学2001-11
- 国立大学・大学共同利用機関の独立行政法人化問題に関する日本天文学会および日本学術会議天文学研究連絡委員会の共同声明, 天文月報2000-1

- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (第1回) 「天文学研究者人口調査」, 沢武文, 天文月報2000-1
- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (第2回) 「当事者から眺めたPD・OD問題」, 今井裕, 天文月報2000-2
- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (第3回) 「教官からの現状報告及び提案」, 観山正見, 天文月報2000-3
- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (最終回) 「日本の学術体制と天文学」, 池内了, 天文月報2000-4
- 天文学分野の女性研究者問題アンケート調査の結果報告 (前編), 加藤万里子 池内了, 天文月報2000-3
- 天文学分野の女性研究者問題アンケート調査の結果報告 (後編), 加藤万里子 池内了, 天文月報2000-4
- 大学と研究者, 石田けい一, 天文月報2000-5
- 大学改革はどこへ向かうのか? 特集, 科学2001-10
- 国立研究所の独立行政法人化, 田中一宜, 日本物理学会誌2000-11
- 特集「大学の独立法人化問題」, 池内了 牟田泰三 釜江常好, 日本物理学会誌2000-9
- 緊急特集「国立大学・研究所の独立行政法人化」, 科学1999-11
- ポスドク2000年問題, 谷村吉隆(投稿), 日本物理学会誌1999-2

+ 日経サイエンス (ブラックホール)

- 宇宙の謎 “ブラック・ホール”, R.ペンローズ, 日経サイエンス日経サイエンス 1972年 7月号
- ブラック・ホールを探す, K.S.ソーン, 日経サイエンス 1975年 2月号

- ブラックホールと量子力学, S.W.ホーキング, 日経サイエンス 1977年 3月号
- 銀河集団とブラックホール, P.ゴーレンシュタイン/W.タッカー, 日経サイエンス 1979年 1月号
- 銀河系の中心はブラックホールか, T.R.ゲバール, 日経サイエンス 1979年 9月号
- ブラックホールと膨張宇宙, 佐藤文隆, 日経サイエンス 1980年 2月号
- ブラックホールの“膜パラダイム”, R.H.グライヌ/K.S.ソーン, 日経サイエンス 1988年 6月号
- 銀河系の中心で何が起きているか, C.H.タウンス/R.ゲンツェル, 日経サイエンス 1990年 6月号
- 銀河の中心核に潜むブラックホール, M.J.リース, 日経サイエンス 1991年 1月号
- 重力波をつかまえる, R.ルーセン, 日経サイエンス 1992年 5月号
- ブラックホール付近では遠心力が逆転する, M.A.アラモビッツ, 日経サイエンス 1993年 5月号
- 最も遠い電波銀河, G.K.ミラー/K.C.チェンバース, 日経サイエンス 1993年 8月号
- 巨大な銀河爆発, S.ペイラー/G.セシル/J.ブランド=ホーソーン, 日経サイエンス 1996年 4月号
- ブラックホールを否定したアインシュタイン, ジャーンスタイン, 日経サイエンス 1996年 8月号
- ホーキングvs.ペンローズ——時空の本質をめぐる論争, S.W.ホーキング/R.ペンローズ, 日経サイエンス 1996年 9月号
- ブラックホールと情報のパラドックス, L.サスカインド, 日経サイエンス 1997年 7月号
- ブラックホールをあばく, J.-P.ラソータ, 日経サイエンス 1999年 8月号

+ 日経サイエンス (宇宙論)

- 幻の物質と宇宙論, 佐藤文隆, 日経サイエンス 1984年 3月号
- 宇宙の未来, D.A.ダイカス/J.R.リトー/D.C.テプリッツ/V.L.テプリッツ, 日経サイエンス 1983年 5月号
- 修正を迫られる宇宙論, J.ホーガン, 日経サイエンス 1990年 12月号
- ホーキング宇宙論への8つの疑問, 松尾義之 (編集部), 日経サイエンス 1991年 7月号
- 量子宇宙論と宇宙の創成, J.J.ハリウエル, 日経サイエンス 1992年 2月号
- 定常宇宙論が敗れた日, S.G.ブラッツシュ, 日経サイエンス 1992年 10月号
- 日本のX線天文学の成果 「ぎんが」から「あすか」へ, 牧島一夫/井上ー/田中靖郎, 日経サイエンス 1994年 1月号
- 特集：揺れ動く宇宙論——宇宙は第2のインフレーションに突入したのか, 佐藤勝彦, 日経サイエンス 1999年 4月号 (別冊日経サイエンス136「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：揺れ動く宇宙論——インフレーション理論の新展開, M.A.グッチャー/D.N.スパールゲル, 日経サイエンス 1999年 4月号 (別冊日経サイエンス136「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：揺れ動く宇宙論——息吹き返すアインシュタインの宇宙定数, L.M.クラウス, 日経サイエンス 1999年 4月号 (別冊日経サイエンス136「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：揺れ動く宇宙論——宇宙膨張は加速している, C.J.ホーガン/R.P.カーシュナー/N.B.サンツェフ, 日経サイエンス 1999年 4月号 (別冊日経サイエンス136「宇宙論の新次元」にも所収)
- 無限の宇宙は錯覚か, J-P.ルミネ他, 日経サイエンス 1999年 7月号 (別冊日経サイエンス136「宇宙論の新次元」にも所収)

- 宇宙の地図をつくる, S.D. ランデイ, 日経サイエンス 1999年9月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 宇宙誕生の謎は解けるか, M. Rees, 日経サイエンス 2000年1月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：宇宙論の新展開——インフレーション理論を確かめた気球観測, 佐藤勝彦, 日経サイエンス 2001年4月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：宇宙論の新展開——光速不変に挑む新理論, J.ラクエイジオ, 日経サイエンス 2001年4月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：宇宙論の新展開——現代宇宙論を採点する, P.J.E.ピーブルス, 日経サイエンス 2001年4月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：宇宙論の新展開——暗黒エネルギーが支配する宇宙, J.P.オストライカー/P.J.ヌタインハート, 日経サイエンス 2001年4月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 特集：宇宙論の新展開——宇宙論検証のカギ握る重力波観測, R.R.コールドウェル/M.カミオンコウスキー, 日経サイエンス 2001年4月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 宇宙の万華鏡—重力レンズ, J.クワンズガンス, 日経サイエンス 2002年2月号

+ 日経サイエンス (重力)

- 宇宙の謎 “ブラツク・ホール”, R.ペンローズ, 日経サイエンス 1972年7月号
- 重力理論, C.M.ウイクル, 日経サイエンス 1975年1月号
- 重力は弱くなっているか, T.C.バン・フランダーン, 日経サイエンス 1976年4月号
- 超重力理論, D.Z.フリードマン/P.バン・ニューベンホイゼン, 日経サイエンス 1978年4月号
- 量子論における重力の役割, D.M.グリーンバナー/A.W.オーバーハウザー, 日経サイエンス 1980年7月号
- 銀河はなぜ渦巻くか, 松田卓也, 日経サイエンス 1980年8月号
- 重力レンズとクエーサー, F.H.チャプマン, 日経サイエンス 1981年1月号
- 素粒子と力の統一理論, H.ジオルジ, 日経サイエンス 1981年6月号
- 連星系パルサーからの重力波, J.H.チエラー/J.M.ライズバーク/L.A.フラウラー, 日経サイエンス 1981年12月号
- 量子重力理論, B.S.デウイット, 日経サイエンス 1984年2月号
- 時空の隠れた次元, D.Z.フリードマン/P.バン・ニューベンホイゼン, 日経サイエンス 1985年5月号
- 超新星爆発のメカニズム, H.A.ベーター/G.ブラクマン, 日経サイエンス 1985年7月号
- 超弦理論, M.B.グリーン, 日経サイエンス 1986年11月号
- 重力波天文台, A.D.ジェフリーズ/P.R.ソールソン/R.E.スペロ/M.E.ズッカー, 日経サイエンス 1987年8月号
- 新しいタイプの超新星, J.C.ウイラー/R.P.ハークネス, 日経サイエンス 1988年1月号
- 重力と反物質, T.ゴールドマン/R.J.ヒューズ/M.M.ニート, 日経サイエンス 1988年5月号
- 重力レンズで宇宙を探る, E.L.ターナー, 日経サイエンス 1988年9月号
- 星の誕生から主系列星まで, S.W.スターター, 日経サイエンス 1991年9月号

- 探査機ガリレオがめざす小惑星の世界, R.P.ピンゼル/M.A.バルツチ/M.フルチグノニ, 日経サイエンス 1991年12月号
- 重力波をつかまえる, R.ルーセン, 日経サイエンス 1992年 5月号
- 太陽系最後の謎「小惑星」, 吉川真/興石肇, 日経サイエンス 1992年10月号
- 特集：火星有人探査のシナリオ——巡回軌道の宇宙船を使う, J.オバーク/B.オルドリン, 日経サイエンス 2000年 6月号
- 特集：宇宙論の新展開——宇宙論検証のカギ握る重力波観測, R.R.コールドウェル/M.カミオンコウスキー, 日経サイエンス 2001年 4月号

+ 日経サイエンス (量子論・統一理論)

- 素粒子の相互作用に関する統一理論, S.ラインバーグ, 日経サイエンス 1974年 9月号
- 素粒子と力の統一理論, H.ジオルジ, 日経サイエンス 1981年 6月号
- 重い原子核の高エネルギー衝突, W.C.マクハリス/J.O.ラスムッセン, 日経サイエンス 1984年 3月号
- 宇宙をつくった対称性の破れ, R.K.アデア, 日経サイエンス 1988年 4月号
- 粒子加速器が検証する宇宙論の予言, D.N.シュラム/G.ヌテイーグマン, 日経サイエンス 1988年 8月号
- 決定された素粒子の世代数, G.J.フェルドマン/J.スラインバーガー, 日経サイエンス 1991年 4月号
- アモルファス氷, 香内晃/黒田登志雄, 日経サイエンス 1991年 7月号
- ここまでわかったニュートリノの質量, 江尻宏泰, 日経サイエンス 1994年 2月号
- 素粒子研究はどこへ行く, J.ホーガン, 日経サイエンス 1994年 4月号
- 新局面を迎えた超弦理論, M.マカージー, 日経サイエンス 1996年 3月号
- 世界最大の放射光施設Spring-8, 中島林彦 (編集部), 日経サイエンス 1997年12月号
- 反物質宇宙を探す, G.ターレ他, 日経サイエンス1998年8月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 宇宙の非対称性の謎を解くBフラクトリー, H.R.クイン/M.S.ウイゼレル, 日経サイエンス 1999年 1月号
- クームホールと負のエネルギー, L.H.フオード/T.A.ローマン, 日経サイエンス 2000年 4月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)
- 新しい「魔法数」の発見, 谷畑勇夫, 日経サイエンス 2001年 3月号
- 2050年大予測——大統一理論は完成するか, S.ラインバーグ, 日経サイエンス 2000年 1月号
- 宇宙の見えざる次元, N.アルカーニハメッド他, 日経サイエンス 2000年12月号 (別冊日経サイエンス136 「宇宙論の新次元」にも所収)